

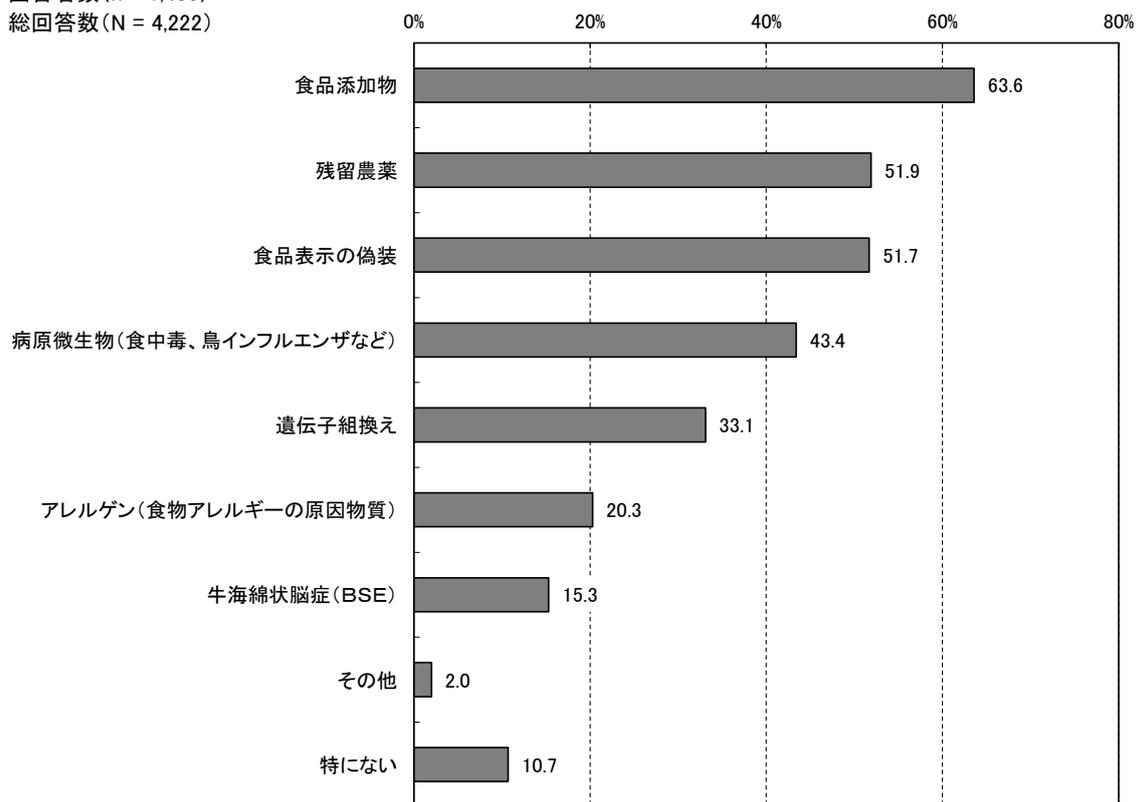
問18 食品の安全性への不安

問18 あなたは、普段食べている食品の安全性について、どのような不安を感じることがありますか。(いくつでも)

全体(図18-1)で見ると、「食品添加物」が63.6%と最も高く、次いで「残留農薬」(51.9%)、「食品表示の偽装」(51.7%)の順となっている。

図18-1 食品の安全性への不安

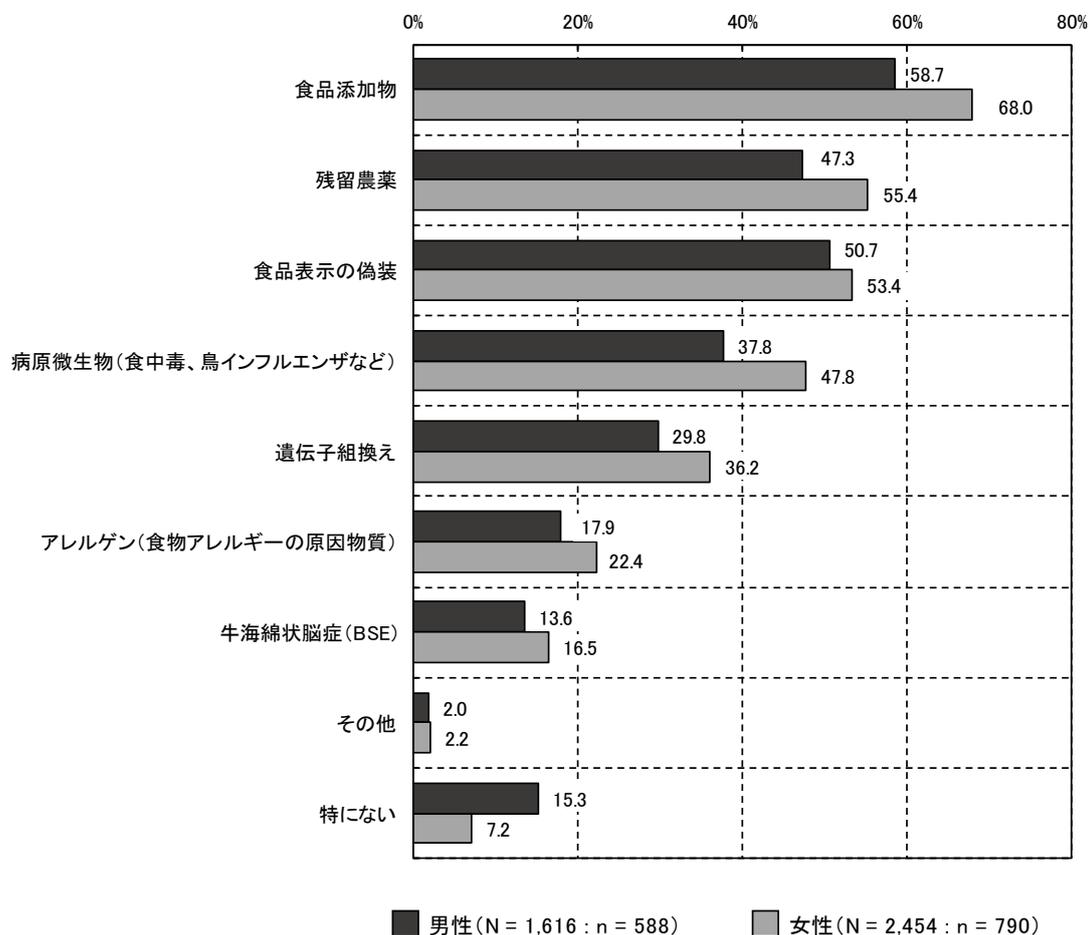
回答者数(n = 1,436)
総回答数(N = 4,222)



※ 第39・40回調査では、「食品の安全性への不安」は聞いていない。

性別(図 18-2)で見ると、男女ともに「食品添加物」が最も高くなっており、男性が 58.7%、女性が 68.0%となっている。「病原微生物(食中毒、鳥インフルエンザなど)」では、女性が男性より 10 ポイント高くなっている。

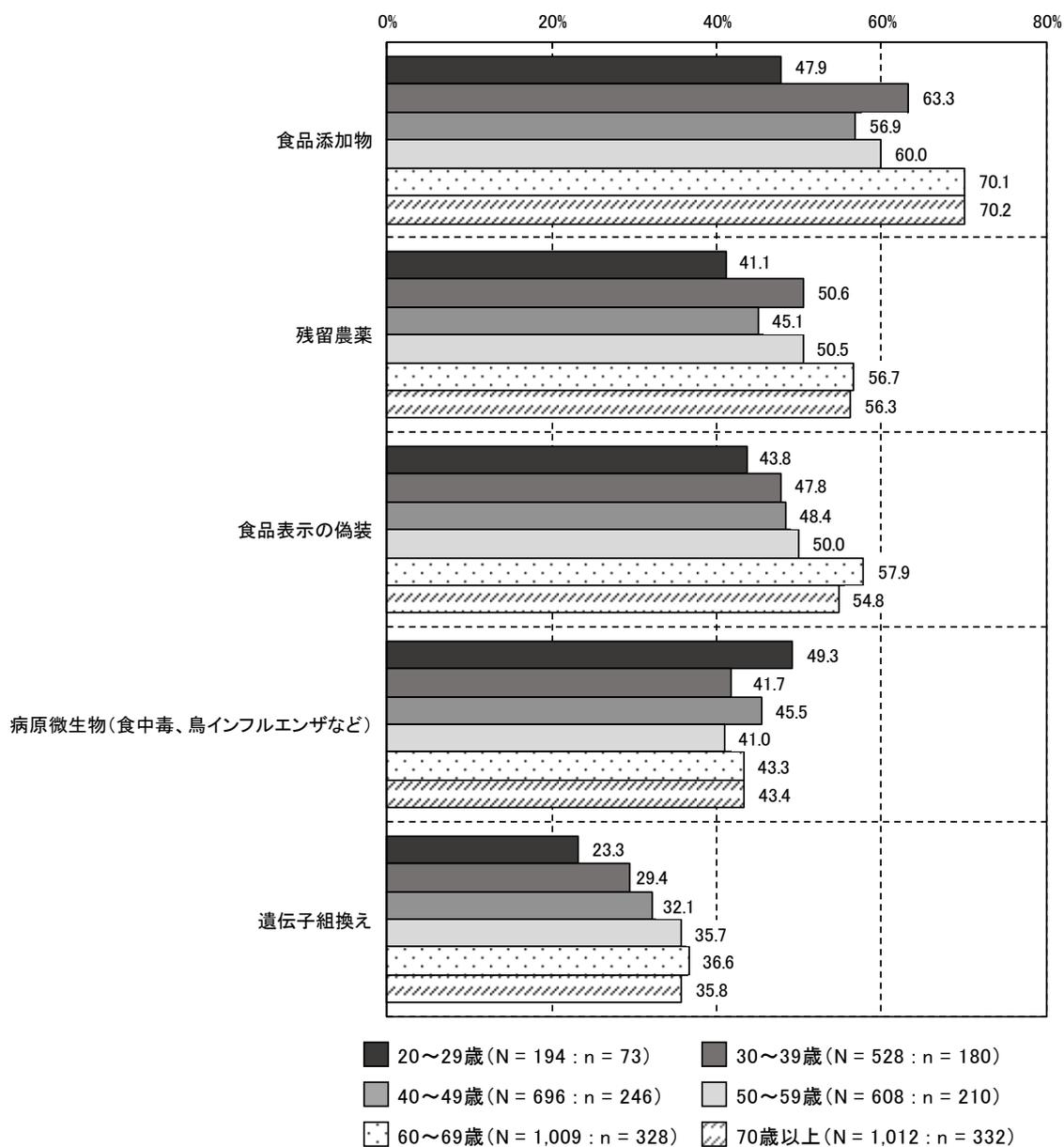
図 18-2 【性別】 食品の安全性への不安



※ N=総回答数 n=回答者数

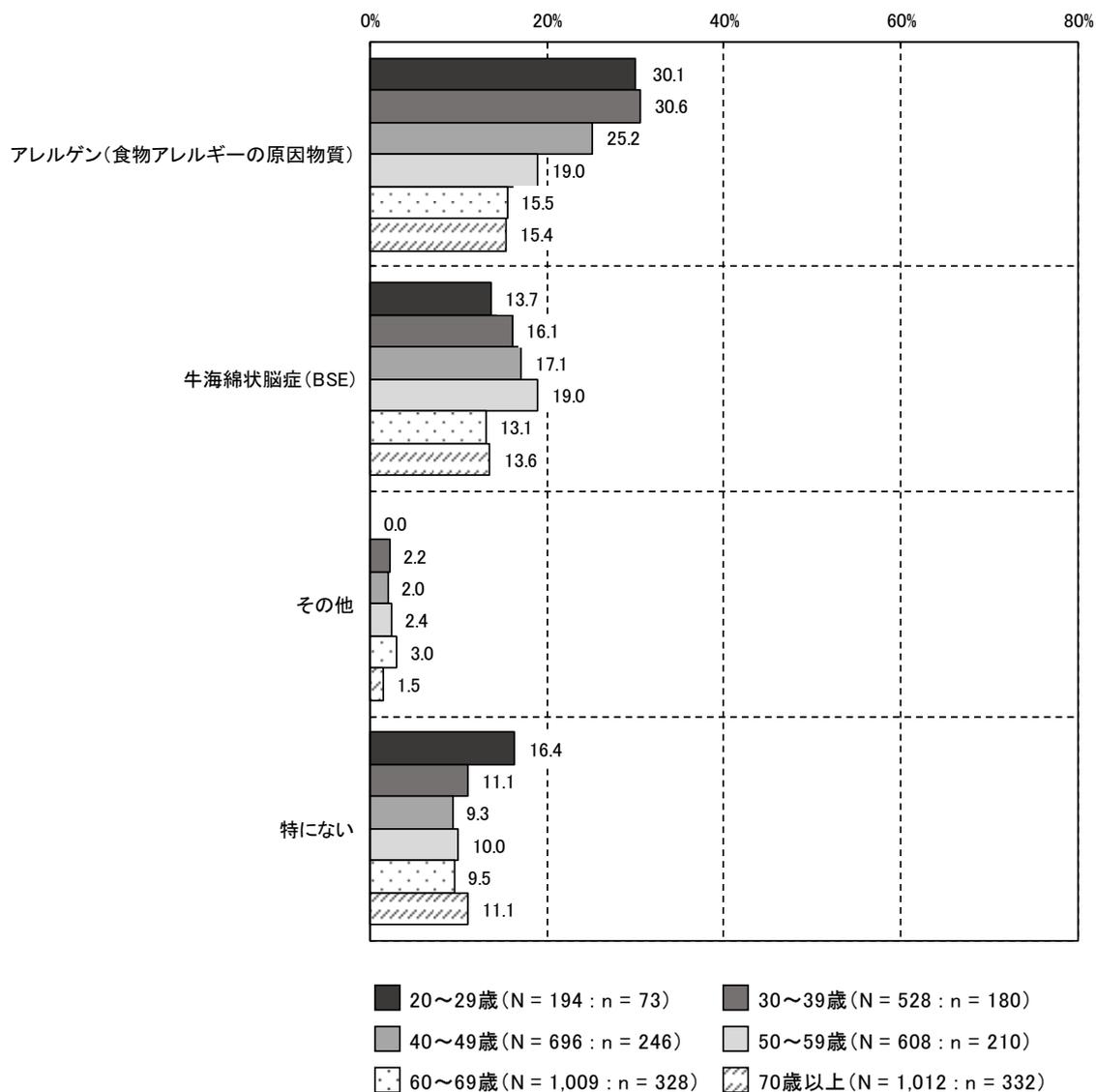
年代別（図 18-3）でみると、20 歳代を除くすべての年代で「食品添加物」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 70.2%と最も高くなっている。20 歳代では「病原微生物（食中毒、鳥インフルエンザなど）」が最も高く 49.3%となっている。

図 18-3 【年代別】 食品の安全性への不安



※ N=総回答数 n=回答者数

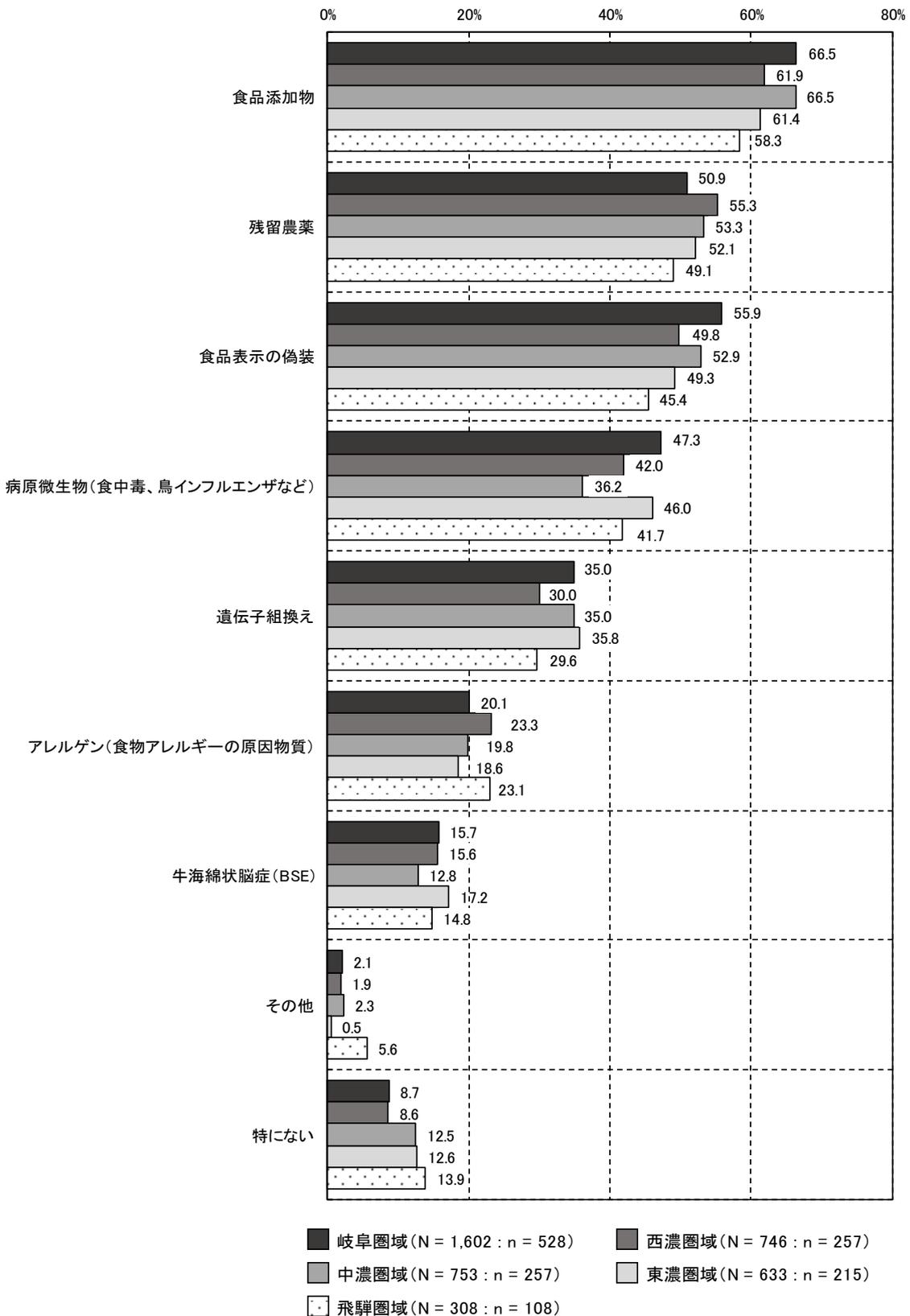
図 18-3 【年代別】 食品の安全性への不安（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 18-4）で見ると、いずれの居住圏域においても「食品添加物」が最も高く、そのうち岐阜圏域と中濃圏域が 66.5%と最も高くなっている。

図 18-4 【居住圏域別】 食品の安全性への不安



※ N=総回答数 n=回答者数